

年間第2主日

ヨハネ 2・1-11

2016. 1. 17

イエズス会 柴田 潔

わたしは最近、ある教会でマリア信心を大事にしているグループの集會に毎回参加しています。「マリア様の心で人々に奉仕しよう」と集まっているグループで、わたしの召し出しのきっかけにもなりました。このグループを山口県の教会に戻ってから立ち上げたいと思って勉強しに行っています。ただ、神父だと名乗ってしまうと、特別扱いされてしまいそうなので、黙って参加しています。すると、ご婦人がたがいろいろ質問してきます。「所属の教会はどちらですか?」、「お仕事は何ですか?」、最後に「独身ですか?」と聞いてこられます。「はい」と答えると、「いい人、たくさんいますよ。うふふ・・・」と言われます。お嫁さんを探してくれようとしています。神父であることを黙っているのを申し訳なく思いましたが、「マリア様がお世話好きだったこと」もわかって、うれしくもなりました。人のお世話を喜んでするのが、マリア様の大きな特徴です。

その他にも、マリア様の素晴らしさがあります。今日は三つ、福音の中から考えます。

カナの婚宴の場面には、台所で働く人、給仕をする人、宴会を盛り上げる人などが一緒だったと思います。でも、ぶどう酒がなくなったのを見つけて、指摘したのはマリア様だけでした。マリア様だけが全体を見ていました。彼女は、全体を見回して何が不足しているかを観察していました。マリア様にも役割も あったでしょうが、それだけするのではなくて、全体を見て、誰も指摘しないことを口にしました。自分の役割だけでなく全体を見られるのがマリア様の素晴らしさの一つです。

では、全体を見回して、ぶどう酒が足りないことを見つけたら、皆さんならどうするでしょうか? きっと、「どれだけ注文してあったのか?」と「予算」のことを気にするでしょう? でも、マリア様はそうしません。「ぶどう酒がなくなりました」とイエスに告げます。この、イエス様に「ぶどう酒がなくなりました」と告げたことに、二つ目と三つ目のマリア様の素晴らしさをあります。物事にあっさりした人は、ぶどう酒がないことに気づいたとしても、そのことを口に

しないでしょ。面倒なことになってしまうからです。自分にも人にも仕事が増えてしまうからです。ぶどう酒は、全くなかったのではなくて、途中でなくなったのだから、もう十分、と思うでしょう。でも、マリア様は、「まだ、ぶどう酒が何とかならないか？」と、思われました。このように、物事に深入りしていくのがマリア様の二つ目の素晴らしさです。

深入りされたマリア様は、イエス様に期待をかけました。神様に信頼する、神様に助けを求めるのが、マリア様の三つ目の素晴らしさです。自分の力では手に負えないことを、イエス様にゆだねて、後は様子を見る。マリア様は、ただの世話好きではありません。イエス様への深い信頼をもって、人のお世話をしていました。

お世話好きなマリア様には、全体を見る、深入りする、信頼して神様に預ける、三つの素晴らしさがあります。わたしたちの日常生活に生かせるヒントだと思いますが、高円寺教会にも、マリア様の素晴らしさが宿っています。待降節の福島支援の募金と、実際にボランティアに参加された方からも、そのことがわかります。日本全体から不足していることを探しました。もうすぐ5年経って関心が薄くなっているにも深入りしました。どれだけ出来るからなくても、神様に信頼して、教会の人の優しい心に信頼して動き始めました。

わたしたち一人ひとりが、また高円寺教会がマリア様の素晴らしさ伝える一週間にしていきましょう。